

指導におけるCan-do statementsの役割

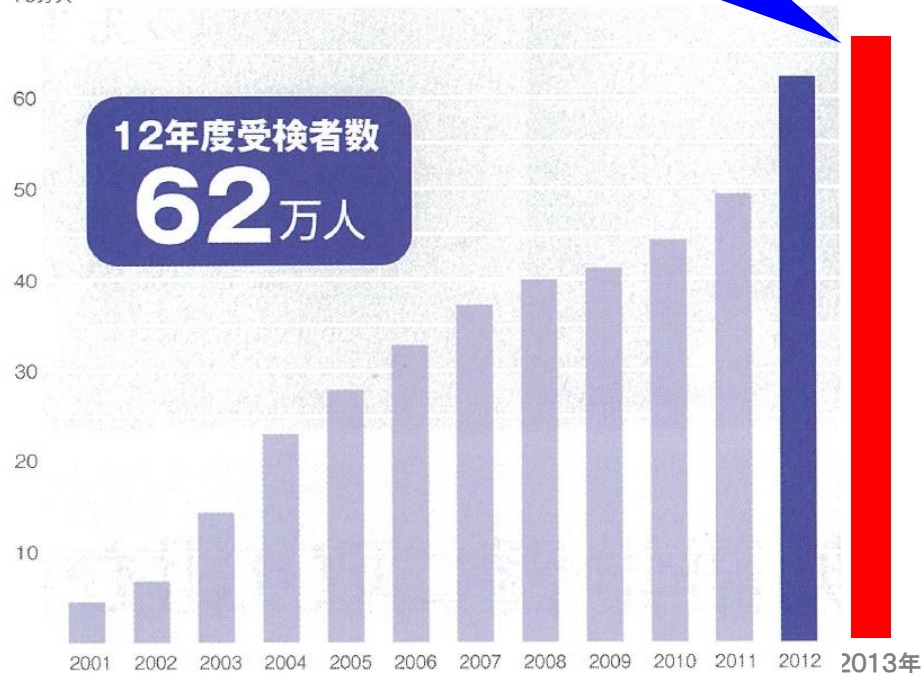
GTEC for STUDENTSとしての意見

2014年2月24日

株式会社ベネッセコーポレーション
高校事業部

全国受検者数の推移

70万人



13年度受検者数
65万人(見込)

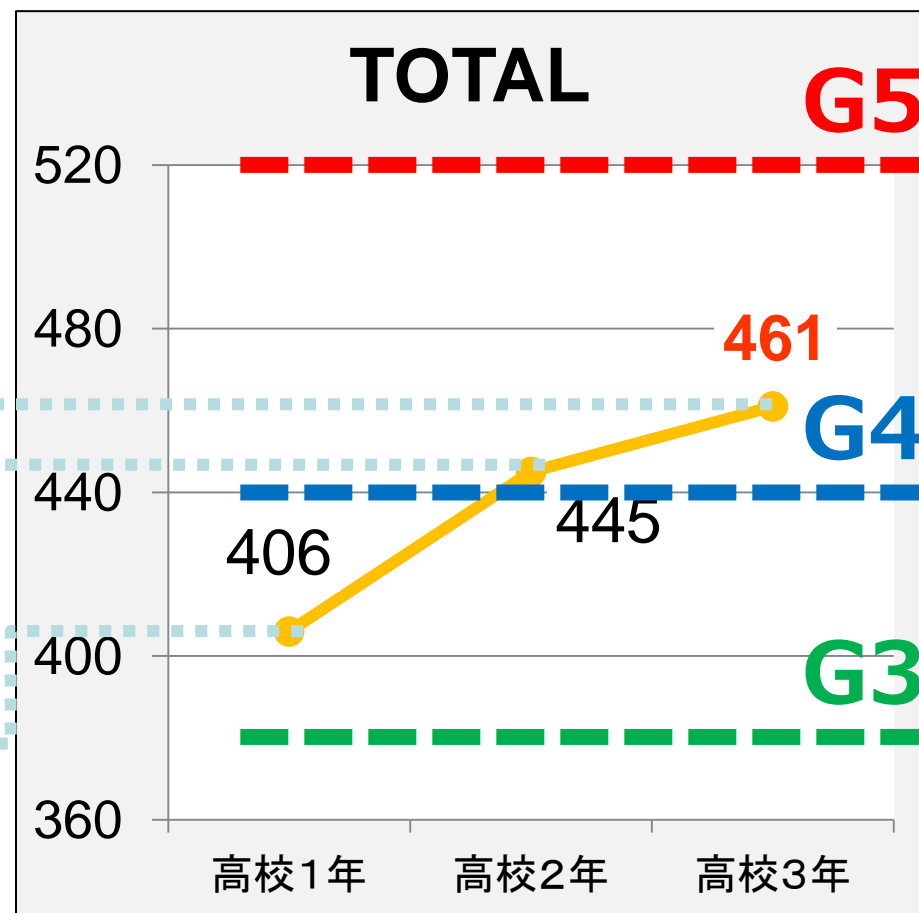
12年度受検者数
62万人

- 1998年
日本の学生のスタンダードな新英語力指標を目指して発刊
Proficiency Guideline完成
※測定技能領域別に、テストの項目難易度をもとに、
各Gradeで解答可能となるテスト項目の特性分析を行って作成したもの
- 2000年
can-do statements完成
※Common European Framework of Referenceリリースの1年前に完成
- 2002年
GTEC-CBT版開発（社会人版GTEC発刊）
- 2005年
Coreタイプ発刊 中高一貫校の中学校での受検が可能に。
年間受検者数：23万人を突破
- 2006年
全国高校生英語ディベート大会スタート
（メインスポンサーとして協賛）
- 2009年
帳票改訂 集団指導での成果検証での活用を重視した設計に。
- 2011年
改訂版can-do statements公表
- 2012年
文部科学省「外部検定試験の活用による英語力の検証」事業で採択
- 2013年
東京都英語教育戦略会議「英語力判定統一試験」で採択

中高校生対象のスコア型として最も受験者の多い英語アセスメント

GRADE 7	Advanced-Plus Learner 大学での専門教育を英語で学べるレベル	TOTALスコア 710~810
GRADE 6	Advanced Learner 海外進学を視野に入れることができるレベル	TOTALスコア 610~709
GRADE 5	High Level 高校英語上級レベル	TOTALスコア 520~609
GRADE 4	Intermediate Level 高校英語中級レベル	TOTALスコア 440~519
GRADE 3	Primary Level 高校英語初級レベル	TOTALスコア 380~439
GRADE 2	Introductory Level 定型的なやりとりであればできるレベル	TOTALスコア 300~379
GRADE 1	Preparatory Level 挨拶程度の簡単なコミュニケーションができるレベル	TOTALスコア ~299

高校卒業時の
推奨グレード



※2011年度受験者49.5万人のデータから算出。

Grade	表記
7	Advanced-Plus Learner
6	Advanced Learner
5	High Level (高校英語上級レベル)
4	Intermediate Level (高校英語中級レベル)
3	Primary Level (高校英語初級レベル)
2	Introductory Level
1	Preparatory Level

GTEC for STUDENTSのCan-do statements
＝各グレードで「できるであろうこと」を技能別に記述したもの

リーディング	Part A	語彙・語法	Using vocabulary in context.
	Part B	情報検索	Skimming a passage for general information; scanning a passage for specific, detailed information.
	Part C	内容理解	Comprehending a passage globally.
リスニング	Part A	写真・イラスト説明	Matching a statement with a picture.
	Part B	会話応答	Choosing an appropriate response to a question.
	Part C	課題解決	Solving a real-world task.
	Part D	内容理解	Finding specific information.
ライティング 採点基準		意見の有無	Goal Achievement 1: (The examinee has written an essay on a given topic, clearly stating their opinion.)
		理由の有無	Goal Achievement 2: (The examinee has given reasons to support their opinion.)
		語彙	Vocabulary
		文法	Grammar
		構成・展開	Organization

Grade	READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING	
	スコア	can-do	スコア	can-do	スコア	can-do	TOTAL スコア	can-do
Grade 3	140 ~	○教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事のつながり)を理解できる。 ■1文が短く、単純な構文で書かれた教科書の本文を日本語に訳さなくても、内容を理解できる。 ■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる。	160 ~	○教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	80~	○自分の意見や感想、または出来事の描写を5~6文程度の英語で書くことができる。 ■英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引きながらであれば、書くことができる。	380~	○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分のことなど、なじみのある話題について英語で短いやりとりができる。 ■学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語で言うことができる。
Grade 2	120 ~	○教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。 ■個人的な短い手紙やEメールの英語のメッセージを辞書を使いながら読めば何とか理解できる。	140 ~	■英語で電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたり、ゆっくり簡単な英語で話してもらえば近くの場所までの道順を、ほぼ理解できる。	40~	○自分の意見や感想を2~3文の英語で書くことができる。 ■2~3文程度の短い簡単な内容の英語の日記を書くことができる。 ■絵はがきやカードに簡単な英語のメッセージを書くことができる。	300~	■自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。
Grade 1	~ 119	■ExitやStop!など、看板や表示に書かれた数語程度の簡単な英語を読んで理解できる。 ■写真付きのファーストフード店のメニューならば理解できる。	~ 139	○日本人の先生による、英語での簡単な指示(Stand up., Open your textbook. など)を理解できる。 ■Where do you live?など、聞き慣れた簡単な質問は、ほぼ理解できる。 ■英語で曜日や月、時間を聞いて、理解できる。	~39	○自分の意見や感想を表す英語の単語をいくつか書くことができる。 ■自分の名前や住んでいる場所などの内容を含む、簡単な自己紹介文を書くことができる。	~299	○英語で朝・昼・夕方の簡単なあいさつや別れの言葉をかかわすことができる。 ■自分のことについて名前や年齢、学年、誕生日、出身地などを英語で言うことができる。

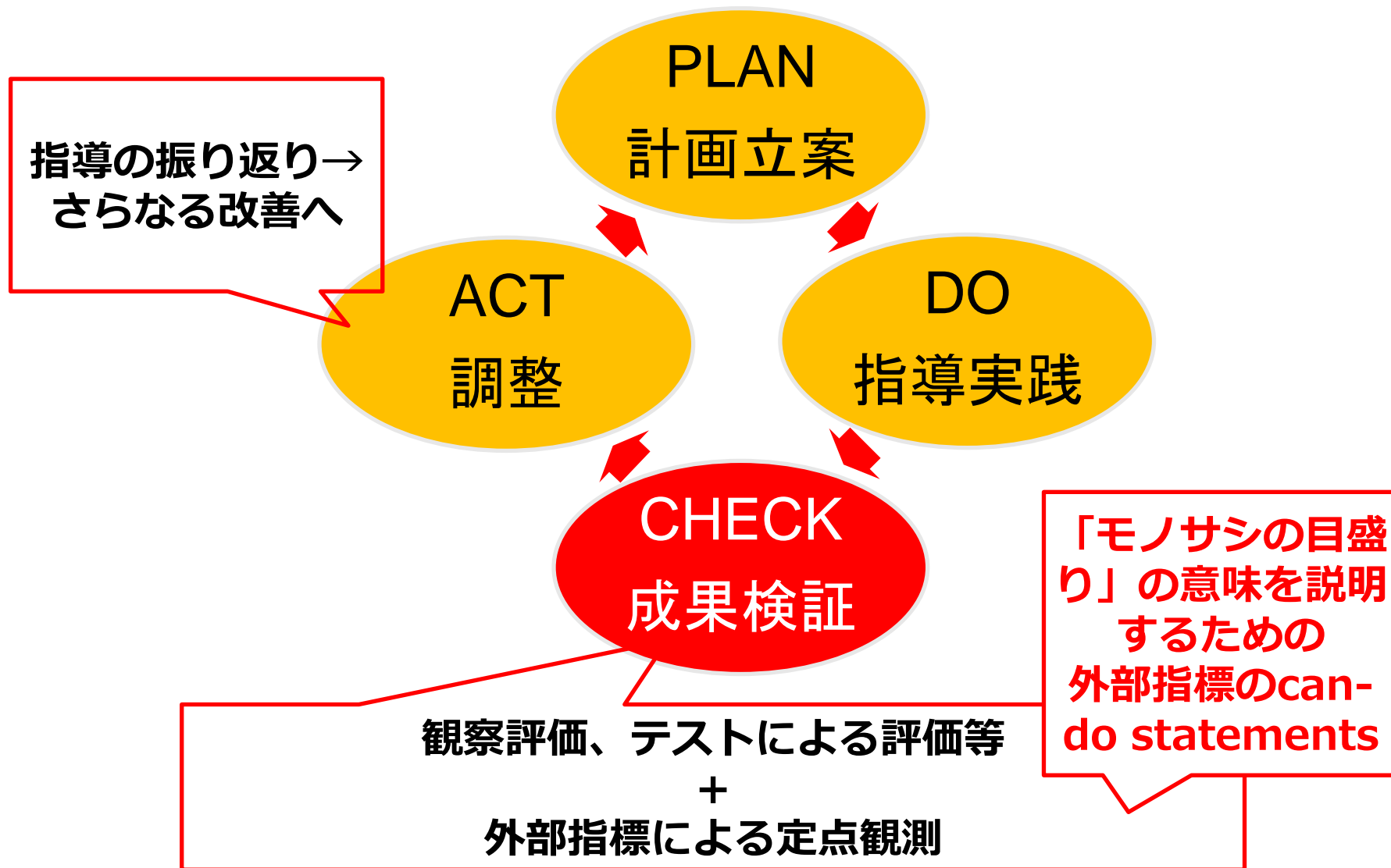
○は教室内can-do ■は教室外can-do

Grade	READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING	
	スコア	can-do	スコア	can-do	スコア	can-do	TOTAL スコア	can-do
Grade 5	190 ～	○教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。 ■語句に日本語の注釈がついた英語学習者向けの英字新聞(週刊STやAsahi Weeklyなど)で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。	200 ～	○教科書のリスニング活動に出てくる、10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。	130 ～	○自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。 ■自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。	520 ～	○なじみのある話題について、英語で議論することができる。 ○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、自分が知っている映画や本のあらすじ、出来事などについて、英語でやりとりができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語ですることができる。 ■日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語ですることができる。
Grade 4	160 ～	○教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。	180 ～	○教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 ■英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。	100 ～	○自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。 ■英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。	440 ～	○自分のスピーチに対する質問に英語で何とか答えることができる。 ■高校生がアルバイトをすることに対して賛成か反対かを述べるなど、身近な社会的な話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。

○は教室内can-do ■は教室外can-do

Grade	READING		LISTENING		WRITING		SPEAKING	
	スコア	can-do	スコア	can-do	スコア	can-do	TOTAL スコア	can-do
Grade 7	270 ～	<p>■英語母語話者向けのテキスト(小説やインターネットのホームページなど)を読んで、辞書なしでも内容をほぼ理解できる。</p>	270 ～	<p>○なじみのあまりない話題に関する、込み入った内容の話や会話を聞いて、要点を把握しながら内容を理解できる。 ■海外で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容が大筋を理解できる。</p>	170	<p>○意見の分かれる話題について、複数の事実関係や意見の共通点、相違点を整理し、論理的に自分の考えを書くことができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題についての発表や討論を聞いて、その内容をまとめ、自分の意見を書くことができる。</p>	710 ～	<p>○国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、英語で議論することができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。</p>
Grade 6	230 ～	<p>○教科書の本文の中の重要な点(とそうでない点)を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。 ■語句に注釈などのない日本の英字新聞(Japan TimesやDaily Yomiuriなど)で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。</p>	220 ～	<p>○リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。 ■日本で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容が大筋を理解できる。</p>	160 ～	<p>○効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。 ■国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、読み手を意識して自分の考え・意見・提案などを書くことができる。</p>	610 ～	<p>○英語のネイティブ・スピーカーの先生と、本や映画などなじみのある話題であれば、新たな質問を思いつくなどして話題を発展させることができる。 ■日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。</p>

○は教室内can-do ■は教室外can-do



「GTEC for STUDENTS」から見る 高校生の英語力

平成24年度「外部検定試験の活用による英語力の検証」事業
調査結果より

筆記テスト		46,602 人
	リーディング	46,705 人
	リスニング	46,658 人
	ライティング	46,779 人
スピーキングテスト		7,879 人
	必須問題のみ	7,879 人
	必須問題・任意問題	3,767 人
生徒アンケート		46,368 人

【筆記テスト】

リーディング

46,602 人

リスニング

ライティング

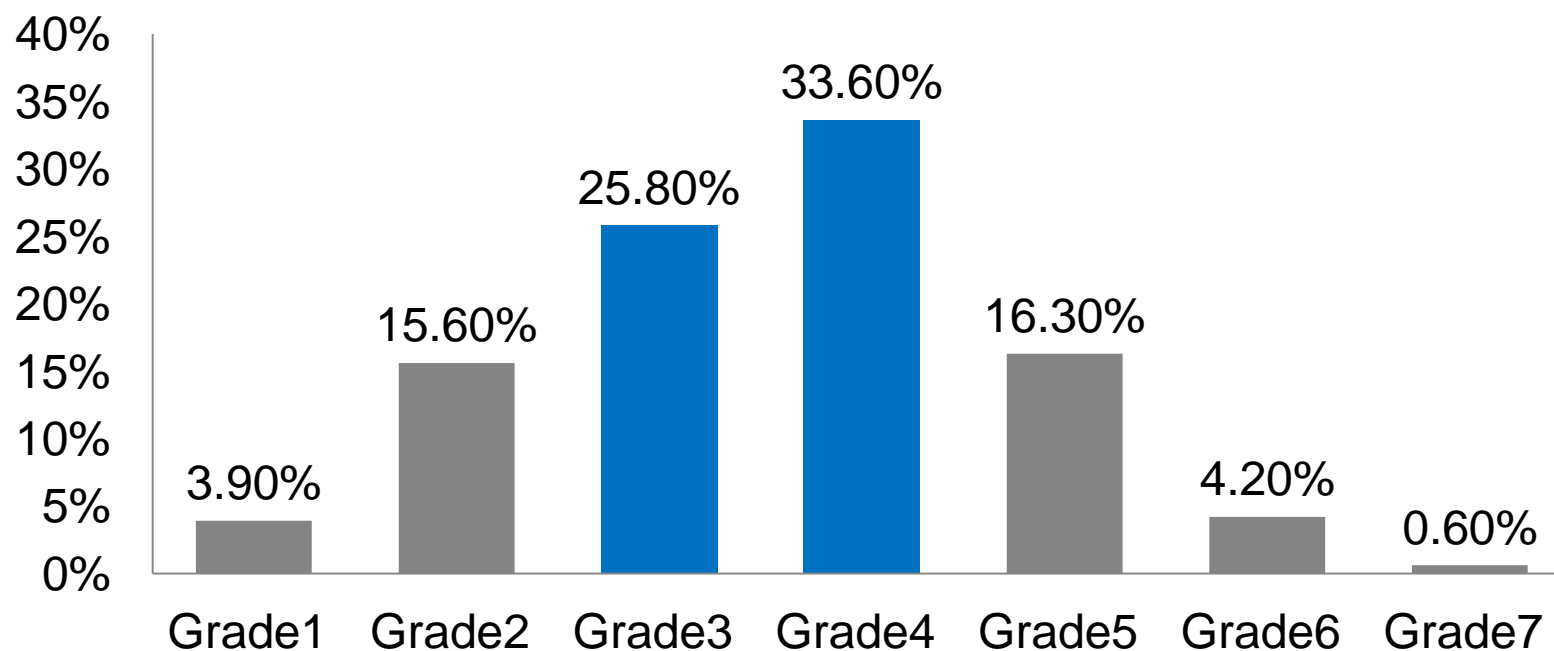
【スピーキングテスト】

7,879人

必須・任意
3,767 人

Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5	Grade6	Grade7	計(人)
1,737	6,914	11,443	14,902	7,234	1,845	283	44,358
3.9%	15.6%	25.8%	33.6%	16.3%	4.2%	0.6%	100.0%

N=44,358(生徒アンケートと筆記テストのクロス集計対象人数)



Point 1

各技能のスコアとバランスを概観
平均スコアから、集団としての4技能の到達度とバランスをおおまかにつかむ。

Point 2

めやすとなる人数割合別の到達状況確認
度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

Point 3

目標グレード以上に到達した割合を確認
グレード6以上の「Advanced Learner(以上)」の割合を確認する。

平均スコアから、集団としての4技能の到達度とバランスをおおまかにつかむ。

スコア

トータル	リーディング	リスニング	ライティング
452.0	163.9	179.5	108.2
参)462.8	参)176.3	参)179.9	参)106.4

※参考値： GTEC for STUDENTS高3上期受検者平均

グレード

高校英語上級
 高校英語中級
 高校英語初級

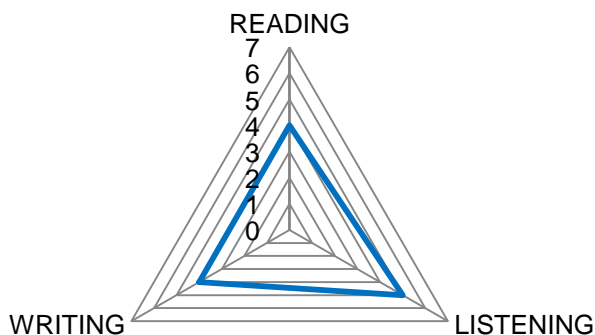
グレード	トータル	リーディング	リスニング	ライティング
G7	710-	270-	270-	170
G6	610-	230-	220-	160-
G5	520-	190-	200-	130-
G4	440-	160-	180-	100-
G3	380-	140-	160-	80-
G2	300-	120-	140-	40-
G1	0-	0-	0-	0-

度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

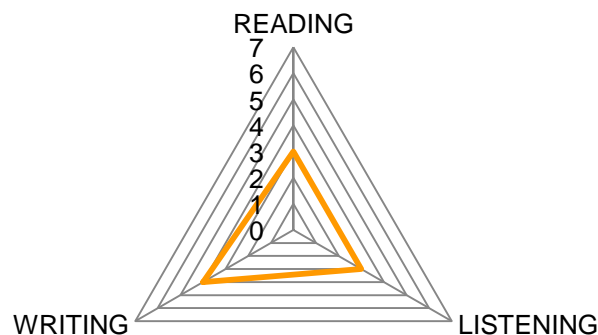
技能	全体	上位20%	上位50%	上位80%
トータル	G4	G5	G4	G3
リーディング	G4	G4	G3	G2
リスニング	G3	G5	G3	G2
ライティング	G4	G4	G4	G3



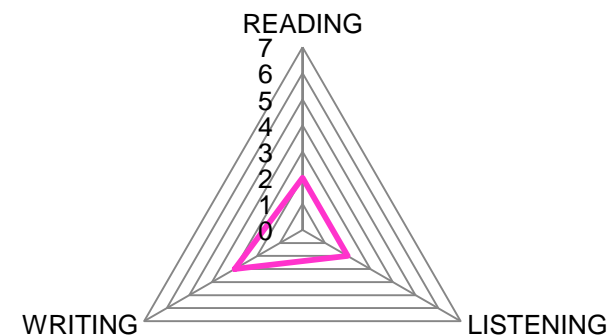
上位20%



上位50%



上位80%



度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

年度		2012	
都道府県名		全国	
スキル		TOTAL	
受検人数		46602	
スコア平均		452.0	
グレード平均		4	
満点		810	
グレード	スコア	単純	累積
7	800	4	4
	780	32	36
	760	33	69
	740	60	129
	720	91	220
6	700	141	361
	680	225	586
	660	254	840
	640	434	1274
	620	534	1808
5	600	846	2654
	580	1083	3737
	560	1494	5231
	540	1944	7175
	520	2583	9758
4	500	3116	12874
	480	3726	16600
	460	4308	20908
	440	4408	25316
	420	4483	29799
3	400	4029	33828
	380	3458	37286
	360	2790	40076
2	340	2088	42164
	320	1478	43642
	300	1047	44689

TOTAL	人数	スコア	グレード
上位20%	9320.4	520	5
50%	23301.0	440	4
80%	37281.6	380	3

【表の見方】

上位20%、50%、80%の人数が該当するスコアゾーンがどこか、どのグレードに該当するかを表現したもの。
各層の間隔が広ければ、分布が広い。
また、間隔が狭ければ、分布が狭いということになる。

高校英語上級

高校英語中級

高校英語初級

筆記テストのトータルは、各層が複数グレードにわたり分布している。

度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

年度		2012	
都道府県名		全国	
スキル		Reading	
受検人数		46705	
スコア平均		163.9	
グレード平均		4	
満点		320	
グレード	スコア	単純	累積
7	320	37	37
	310	29	66
	300	43	109
	290	68	177
	280	93	270
	270	145	415
6	260	220	635
	250	361	996
	240	463	1459
5	230	694	2153
	220	948	3101
	210	1434	4535
	200	1980	6515
4	190	2747	9262
	180	3566	12828
	170	4580	17408
3	160	5654	23062
	150	6123	29185
2	140	6210	35395
	130	5357	40752
1	120	3398	44150
	110	1604	45754
	100	638	46392
	90	210	46602
	80	55	46657
	70	21	46678
	60	7	46685

READING	人数	スコア	グレード
上位20%	9341.0	180	4
50%	23352.5	150	3
80%	37364.0	130	2

グレード4

■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。

グレード3

■外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる。

グレード2

■個人的な短い手紙やEメールの英語のメッセージを、辞書を使いながら読めば何とか理解できる。

度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

年度	2012		
都道府県名	全国		
スキル	Listening		
受検人数	46658		
スコア平均	179.5		
グレード平均	3		
満点	320		
グレード	スコア	単純	累積
7	320	204	204
	310	76	280
	300	148	428
	290	203	631
	280	276	907
	270	396	1303
6	260	572	1875
	250	754	2629
	240	989	3618
	230	1473	5091
5	220	1806	6897
	210	2505	9402
	200	3111	12513
4	190	3804	16317
	180	4656	20973
3	170	5050	26023
	160	5098	31121
2	150	5017	36138
	140	4065	40203
1	130	2963	43166
	120	1744	44910
	110	935	45845
	100	483	46328
	90	197	46525
	80	72	46597
	70	28	46625
	60	11	46636

LISTENING	人数	スコア	グレード
上位20%	9331.6	210	5
50%	23329.0	170	3
80%	37326.4	140	2

グレード5

■英語のネイティブ・スピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。

グレード3

■英語のネイティブ・スピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。

グレード2

■英語で電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたり、ゆっくり簡単な英語で話してもらえば近くの場所までの道順を、ほぼ理解できる

度数分布から、人数割合別(例:上位20%、50%、80%)の到達グレードを確認する。

年度		2012	
都道府県名		全国	
スキル		Writing	
受検人数		46779	
スコア平均		108.2	
グレード平均		4	
満点		170	
グレード	スコア	単純	累積
7	170	7	7
6	160	13	20
5	150	254	274
	140	3949	4223
	130	4770	8993
4	120	14015	23008
	110	7640	30648
	100	4110	34758
3	90	2668	37426
	80	2065	39491
2	70	2375	41866
	60	743	42609
	50	1390	43999
	40	1042	45041
1	30		45041
	20		45041
	10		45041
	0	1738	46779

WRITING	人数	スコア	グレード
上位20%	9355.8	120	4
50%	23389.5	110	4
80%	37423.2	90	3

グレード4

■英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。

グレード3

■英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引きながらであれば、書くことができる。

目標が「グレード6 Advanced Learner(以上)」の場合なら、

グレード	スコア	推奨スコアガイドライン
7	710-above	Advanced-Plus Learner
6	610-	Advanced Learner
5	520-	High Level (高校英語上級レベル)
4	440-	Intermediate Level (高校英語中級レベル)
3	380-	Primary Level (高校英語初級レベル)

グレード6以上の人数、比率

グレード	人数	比率
G6・G7計	1808 人	3.88 %
内訳)G6	1588 人	3.41 %
内訳)G7	220 人	0.47 %

※CEFR B1以上に相当する英語力を有する生徒はG6上位から存在する。

すでに十分な英語運用力を獲得している層が、高3夏時点で約4%存在する。
→将来のグローバルリーダー、地域社会のリーダーとして地域や社会に貢献する意識づけを期待しやすい層。